

としょかんNEWS 第108号



2016年3月4日
湘北短期大学図書館

卒業生の図書館利用について

● 卒業後も図書館が利用できます！！

「卒業後も湘北の図書館を利用したい」というみなさんのご要望にお応えして、湘北短期大学図書館では卒業生へのサービスを行っています。

- ◎ 学生時代に使い慣れた図書館を卒業後も利用したい
- ◎ 保育や教育の現場で、実技書や絵本・紙芝居を活用したい
- ◎ 仕事でのスキルアップや資格取得を目指して勉強したい

そんなときは、ぜひ湘北の図書館を活用してください。



図書館メールアドレス

● 図書館を利用するにはどうしたらいいの？

図書館の利用を希望される場合には、まず下記の内容をご連絡ください。

連絡方法は、電話・メール・FAX いずれでもかまいません。

- | | | |
|--------|------------------|----------|
| ① 氏名 | ② 学生番号または入学年度と学科 | ③ 利用希望日時 |
| ④ 利用内容 | ⑤ 連絡先 | |

初回利用時には、身分を証明するもの(身分証明書、運転免許証、保険証、パスポートなど)をお持ちください。カウンターで「図書館登録カード」に記入し、ご提出ください。図書館利用者カードを発行いたします。図書館利用者カードは、正門通行証と兼用になりますので、図書館をご利用の際には必ず携行するようにしてください。

利用案内

- | | |
|--------|--------------------------------------|
| ・貸出冊数 | 図書・雑誌 10冊 CD 2枚 |
| ・貸出期間 | 1カ月。ただし、必要に応じて返却期限以前に返却を依頼することもあります。 |
| ・返却方法 | 原則として持参。ただし、郵送も可。 |
| ・有効期限 | 発行年度末。以後、希望があれば1年更新。 |
| ・登録料 | 無料 |
| ・ペナルティ | 返却日から起算して延滞した日数が経過するまで、新たな貸出はできません。 |
| ・紛失等 | 現物あるいは相当額をもって弁償していただきます。 |
| ・その他 | 利用規則が守られない場合には、利用を取り消すことがあります。 |

● マイライブラリを活用しよう

図書館のWebサービス“マイライブラリ”をぜひご活用ください。「今、借りている図書は何冊？返却日はいつ？」「貸出期間の延長がしたい」「図書の予約をしたい」そんなときに、便利なサービスです。卒業後も引き続き利用することができます。



くわしくはホームページでご案内しています。

<<http://www.shohoku.ac.jp/library/>>

今年度の多読賞を発表します！

2015年度に図書館で最も多く図書を借りた方を発表します！授業の課題・レポートや就職活動に役立つ本はもちろん、趣味・文芸書・実用書・ガイドブックなど、日常生活に役立つ本も多く利用されています。貸出回数の多かった図書のランキングは追って発表する予定です。これからも幅広く図書館をご活用ください！

今年も多読賞にランクインした図書館ヘビーユーザーの皆さんからリクエストを受け付けています。リクエストいただいた図書1冊および視聴覚資料1本を図書館で購入し、展示コーナーで紹介する予定です。

● 貸出冊数ランキング

<1年生>

情報メディア学科

1	H・Sさん	20
2	M・Aさん	20
3	A・Oさん	10

総合ビジネス学科

1	K・Fさん	46
2	E・Sさん	36
3	M・Hさん	32

生活プロデュース学科

1	K・Eさん	49
2	M・Tさん	37
3	H・Yさん	35

保育学科

1	M・Nさん	95
2	U・Kさん	52
3	M・Tさん	41

<2年生>

情報メディア学科

1	E・Nさん	19
2	K・Oさん	14
3	S・Oさん	9

総合ビジネス学科

1	K・Kさん	64
2	H・Kさん	34
3	I・Mさん	30

生活プロデュース学科

1	E・Cさん	83
2	M・Nさん	37
3	M・Sさん	27

保育学科

1	N・Aさん	73
2	Y・Yさん	69
3	M・Kさん	62

<教職員>

教員

◎	1	Y・T先生	173
	2	A・T先生	90
	3	Y・M先生	86

職員

1	M・Oさん	59
2	H・Tさん	58
3	J・Tさん	38

<卒業生>

卒業生

1	M・Aさん	100
2	Y・Mさん	81
3	M・Sさん	74

(集計期間：2015年4月～2016年1月)

多読賞のY・T先生、4連覇おめでとうございます！

1・2年連続の受賞、卒業してからも受賞と、連覇の方が増えています。継続は力なり！在学生の皆さんは学生時代たくさん本を読んで、読書ノートにも挑戦しよう。



近年、本当に本を読まなくなった。学生の事を言っているのではなく、自分の事である。いや違う、本は読んでいるのだが、どうしても仕事に関わる資料とか授業の参考にする本に偏っている。そこで自分としては「本を読んでいる」気分にはならないのだ。

以前(数十年前?!の中・高校時代)は、学校から配られる図書カード(図書館から借りた本の記録。1枚で20冊分位を記入、と記憶している)を、1年に複数枚使うほどよく読んだ。特にジャンルを定めず図書館の本を気の向くままとか、ある作家の物を集中してとか、あるテーマの本を続けて何冊もとか、その時々で読み方は様々だったように思う。とにかく本を通じて知らない世界を知ることが、楽しかった。

そのようにして読んだ中の1冊の小説が、自分の生きていく道の方向性を示すことになった。読んだ時すぐに「これだ」などと思った訳ではない。将来を本気で考え始めさまさま迷い、そして教

育という場を選ぼうと心を決めたその底には、その本との出会いがあったと思える。今では内容を具体的に思い出すことは出来ないが、教育者である主人公の生き方に感銘を受けたのだろう。本との出会いは、時として人生に対して影響を及ぼす。

さて第三の人生の時期を目前にして、これからはどのように本と関わって行こうかと思いを巡らせてみる。今までは知識を得ることが主な目的であったが、そのほかにも眺めることを楽しむ本もある。(衰え行く)脳の働きを活性化する本もあるようだ。昨今の流行は紙ではない「本」で、通勤電車内で懸命に「ページ」をめくる姿を見ることもある。

ゆとりのある心と時間を持つようになるのだから、やはり紙の質感やペラリとめくる時の微かな音なども楽しみながら、そして今までとは違う目的を持ちながら、心ゆくまで本を読むことにしよう。

【連載】館長閑話(29)「^{ため}為にする」ことについて

館長 野口 周一

『ナショナルジオグラフィック』日本版に「アテナイとスパルタの歴史的な大戦に巻き込まれた伝説の島」¹⁾と題して、「古代ギリシャの歴史家クセノフォンが文献に記したこの島は、ペロポネソス戦争末期の紀元前406年、アテナイ軍がスパルタ軍を破ったアルギヌサイの戦いが行われた場所のすぐ近くにあったことで知られる」として、その島の発掘状況を明らかにしている。記事の後段には、この戦いの顛末が「アテナイにとって苦い勝利となった。彼らはスパルタ軍を破ったものの、直後に襲ってきた嵐のせいで、すでに船を破壊されていたアテナイ兵を救助することができなかった。勝利を携えて帰郷した将軍たちを、アテナイ市民は兵士たちを救えなかったことで責め立て、投票によって彼らの処刑を決めた」と紹介している(2015年11月26日配信)。

さて、戦後の日本社会において歴史ブームと呼ぶべき時代が1960年代にあった。中央公論社の『日本の歴史』全26巻がそれを象徴した。その少し前、同社は『世界の歴史』全16巻を刊行、その第2巻は村川堅太郎著『ギリシアとローマ』であった(1961年)。村川は『詳説世界史』(山川出版社)の執筆者として、高校生にも良く知られていた。村川はソクラテスについて「当時の民衆の愚かな行動には、一人立って反対するシンの強さがあった」と記す。そして民衆の愚かな行動として、「前四〇六年の夏、アテネ人は、最後の決戦のために一〇〇隻を越える艦隊を整えた。壮者はこと

ごとく船に乗り込み、奴隷すら解放の約束の下に漕者とされた。四分の一世紀わたる戦いのため国庫はまったくからになっていたが、神殿に奉納された金、銀の製品を鑄融かして戦費にあてた。かくして出港した艦隊はレスポス島付近の海戦でスパルタ艦隊に大勝したが、突如として起こった暴風のため難船し、多数の貴重な人命を失った。それはまさに不可抗力の結果だったが、激昂したアテネ民衆は指揮にあたった将軍たちを裁判にかけ、ソクラテスただ一人が異議を唱えたにもかかわらず、正規の手続きをふまないで六人の将軍を死刑にしてしまった」と書いている。

現在、古代ギリシア史の大家として桜井万里子氏には『ソクラテスの隣人たち—アテナイにおける市民と非市民—』(山川出版社、1997年)があり、その内容の充実度はさすがに大家の名を恥ずかしめない。しかし、氏の「古代ギリシアの社会をジェンダーの視点から読み解いてみる」(『歴史教育とジェンダー—教科書からサブカルチャーまで—』所収、青弓社、2011年)は内容に乏しく、私には全く魅力がない。氏も編集者の懇請によって執筆されたのであろうが、私たちにあって「為にする」²⁾ところの研究は無益である、と自戒をこめて思う。

注1) <http://natgeo.nikkeibp.co.jp/atcl/news/15/112500336/>

注2) 自分に都合の良いように事を運ぼうとしたり、相手を攪乱させようとするような下心を持って、それを行なうこと

H28年度 開館日カレンダー

April

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

May

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

June

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

July

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

August

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

September

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

October

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

November

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

December

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

January

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

February

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

March

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

◇ 通常開館日

□ 月一金 9:00 - 18:30
土 9:00 - 13:00

◇ 短縮開館日

■ 月一金 9:00 - 17:00
土 9:00 - 12:00

◇ 休館日

■ 日曜、祝日、大学の定める休業日